

南三陸 復興まちづくり通信

第19号 (平成28年1月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



伊里前で高台造成地見学会

歌津伊里前地区で整備が進められている防災集団移転「中学校上」、「柘沢」両団地の現地見学会が12月13日、それぞれの造成地で開催されました。

普段は立ち入りできない造成地を見学できるチャンスとあって大勢の参加者があり、中には家族連れやハウスメーカーの担当者と来場する人も。

(中学校上団地造成工事現場の全景。手前が防集団地、奥は左から戸建て公営住宅、保育所、災害公営住宅)

このうち、中学校上団地では完成間近の災害公営住宅や伊里前保育所、戸建ての公営住宅なども建ち並んでおり、参加者たちは、自らの住宅再建に思いを巡らせました。中学校上(51戸)、柘沢(53戸)の両団地は、今月末の造成完了が見込まれており、3月末から4月にかけて引き渡しの予定です。

防集・公営入居予定者が「意見交換会」

志津川東団地防災集団移転予定者と災害公営住宅志津川東地区入居希望者の意見交換会が12月4日、役場2階の大会議室で行われました。

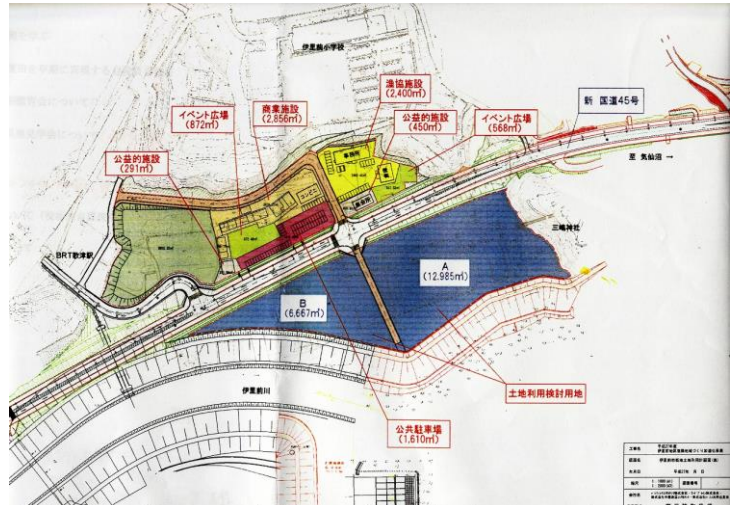
当日は、役場の復興事業推進課、復興市街地整備課、建設課の担当者も出席。防集東団地(西工区)と災害公営住宅東③～⑥街区の概要について詳しく説明しました。さらに、UR都市機構と建設課の担当者が中央広場と街区公園の整備や管理の方針について説明。出席者が、広場の施設についての希望や、管理の在りかたについて意見を述べ合いました。この日出された意見は、今後の公園設計に活かされる予定です。



(役場会議室で行われた「意見交換会」の様子。写真やパネルを使って詳しい情報提供が行われました。)

伊里前まち協「第9回役員会」開催

伊里前まちづくり協議会の「第9回役員会」が12月16日、歌津総合支所で開催されました。当日は、役員のほか、役場から企画課、復興市街地整備課、建設課、歌津支所の担当者が出席。伊里前低地部のまちづくり事業などについて協議が行われました。盛り土工事については、昨年11月に工事請負契約が済んでおり、今月中旬から5.5メートル嵩上げする造成工事が始まる予定です。今後の課題は、新国道南側の土地利用検討用地の扱いで、まち協が中心となって役場と利用計画について話し合うことになりました。



(伊里前の土地利用計画図。今後変更の可能性があります。)



(完成間近の戸倉地区災害公営住宅)

戸倉災害公営住宅3月1日入居開始!

戸倉地区の災害公営住宅の建設がほぼ完了し、3月1日に入居開始の予定です。同住宅は、集合タイプ70戸と戸建て住宅10戸の計80戸が整備されます。隣接地には昨年10月に戸倉小学校も開校し、今年の4月には戸倉保育所と放課後児童クラブなどが入る子育て支援の複合施設もオープンします。

さらに同地区には防災集団移転による住宅地が84区画造成中で、年度内には完成の予定です。戸倉地区の新たなコミュニティの中心地として賑わいの創出が期待されています。

住宅建設が進む志津川地区防集団地

志津川ベイサイドアリーナ東側の防集団地の整備が急ピッチで進んでいます。これまでに東工区(15区画)、西工区のうち40区画の引き渡しが完了。今年5月には北工区(12区画)が引き渡される予定で、残りの西工区73区画も11月の引き渡しが予定されています。

このうち、最も早く昨年6月に宅地が引き渡された東工区では、15区画のうち既に9戸が建築中で、中には昨年12月初めに入居し、正月を新居で迎えた世帯もあります。



(住宅再建が進む高台団地。志津川東団地=12月撮影)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

ジャパン・プラットフォーム (JPF) 「共に生きる」ファンド助成事業